

**「高校生のための学びの基礎診断」認定された測定ツール  
(基本情報)**

事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション					
測定ツール名	ベネッセ数学理解力検定					
主な対象者	主に、四年制大学・短期大学等への進学をめざす高校1年生					
対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
		○				○
測定ツールの目的・概要	<p>【目的・概要】※19年度より新規提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学の授業内容の理解度把握を目的として、学校の履修進度に沿った出題をしている。これにより、各学校の履修内容に合わせた数学の理解度・定着度を、統計的手法を利用して算出したスコアと4段階（予定）のグレードで確認できる。</li> <li>・記述式問題により「知識・技能」から「思考力・判断力・表現力」まで幅広い学力の測定が可能。</li> <li>・生徒一人ひとりが目標設定～自己採点～結果の振り返り・事後学習のプロセスを自発的に取り組める仕組みとなっている。</li> </ul>					
測定ツールの特長・活用例等	<p>【特長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業進度に合った弁別性の高い問題で、数学の学力を的確に把握することができる。</li> <li>・付属のアイテムを使って事前の目標設定～受検直後の自己採点～結果返却後の事後学習のプロセスをつなぐことで、生徒の学習改善への自発的な取り組みにつなげる。</li> <li>・教師用資料として学年視点からの概況データ、教科視点からの分野別データ等を提供。加えて、生徒個人の受検結果一覧では、グレード認定の状況を過回に遡って確認することができる。</li> </ul> <p>【活用例】</p> <p>1年生7月に実施し、高1・初期段階の数学の学力を把握することで、その結果を2学期以降の学年の指導計画に反映できる。</p> <p>1年生11月・1月に継続的に受検することで、学年全体・生徒一人ひとりの学力変化を統計的手法により等化したスコアで把握できるため、学年集会や個人面談の際などに同指標を用いた生徒の自発的な学習意欲を喚起することが可能。</p>					
実施期間、年間実施回数	<p>【実施期間】1年生7月・11月・1月 計3回  検定日（統一実施日）を設け、その日以外の実施は認めない。  1年生 7月：2019年6月末～7月初旬実施予定  1年生11月：2019年10月末～11月初旬実施予定  1年生 1月：2020年1月下旬実施予定  ※いずれも上記範囲内で検定日を調整中。2018年9月に決定予定。</p>					
実施方式（CBT/PBT）	PBT					
試験時間(分)	国語	数学	英語			
	—	7月：80分 11月・1月：100分	—			
受検料	2,200円/回 ※消費税等込					
標準返却期間	答案到着後約4～5週間で返却。					
URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	<a href="http://www.bhso.ne.jp">http://www.bhso.ne.jp</a> ※19年度リリースに向けて、左記URLに今後掲載予定					

指摘事項	出題に関すること	1	件
	結果提供に関すること	1	件
	運営その他に関すること	2	件